

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

令和元年度鹿本地域医療連携懇談会を開催しました

令和元年8月2日(金)ゆとりろ山鹿において、令和元年度鹿本地域医療連携懇談会が開催されました。本懇談会は、鹿本医師会の先生方と公立病院職員等との交流及び親睦を図り、地域医療連携の推進に資することを目的に毎年開催されており、今年度は山鹿市民医療センターが幹事病院として、鹿本医師会、熊本市立植木病院及び当センターの先生方や医療従事者を含む88名の皆様にご参加いただきました。

先ず開会にあたり、鹿本医師会会長の幸村克典先生、山鹿保健所所長の小山宏美先生の挨拶の後、議事に移りました。

議事では、植木病院院長の掃本誠治先生、当センター豊永病院事業管理者の順に、医療連携に関する「登録医療機関」「紹介・逆紹介率及び患者数」「救急外来受入患者数」「大型機器共同利用件数」等の状況が報告されました。当センターの実績報告では、昨年度の紹介・逆紹介率は、日頃の地域の先生方からのご支援とご協力により紹介率61.3%、逆紹介率72.8%と、地域医療支援病院の要件を十分に満たしているとの説明がありました。なお、本懇談会に



は山鹿市民医療センター地域医療支援病院運営委員会及び開放型病院運営協議会委員の先生方が多数参加されていることから、この実績報告をもって第2回委員会及び協議会の開催とさせていただきます。

引き続き懇親会では、豊永病院事業管理者の挨拶に続き、山鹿市歯科医師会会長の宮坂圭太先生の乾杯のご発声で懇親会の開宴となりました。歓談中には植木病院及び当センターの医師・看護師等、並びに医師会の先生方の自己紹介が行われるなど、終始和やかな雰囲気では進行し、山鹿地区薬剤師会理事の大森眞樹先生の万歳で閉会となりました。短い時間ではありましたが、今年度も医師会の先生方、公立病院の先生方や医療従事者を含む多くの方達で会場は盛り上がり、今後の地域医療の連携等について活発に懇談・意見が交わされました。

最後に、今後とも地域医療の発展・連携に努めて参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(文責 経営管理課長 迎田 祐樹)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

令和元年度鹿本地域医療連携懇談会報告	 P 1
肝がん撲滅運動市民公開講座報告	 P 2
医療最前線(116)	 P 3
高校生の1日看護体験・鹿本高校インターンシップ	... P 4
院内研修会案内・がん医科歯科連携研修会	 P 5
外来担当医表(9月)	 P 6

肝がん撲滅運動市民公開講座が開催されました

毎年恒例となっている肝がん撲滅運動市民公開講座“肝がん0（ゼロ）を目指して”が、7月28日に山鹿市民交流センターで開催されました。この講座は毎年1回、玉名、山鹿、阿蘇、熊本、八代、天草、水俣の7会場で同日同時刻に開催されるもので、熊本県、熊本県肝疾患診療連携拠点病院（熊本大学病院）、一般社団法人日本肝臓学会の共催です。

今年度は、当センター消化器内科の本原利彦医師および、熊本大学大学院消化器内科助教の渡邊丈久先生が講師でした。テーマは熊本県内共通で、“油断大敵！脂肪肝”および“今こそ肝炎を治そう”として各講師による講演がありました。

まず、渡邊先生によるB型肝炎およびC型肝炎、そして肝癌治療に至るまでの講演がありました。基礎的な部分から、最新の治療に至るまでわかりやすく解説があり、また、行政的な取り組みの紹介もありました。その後、当センター本原医師により、最近増加の傾向にある脂肪肝および、それによる発癌のわかりやすい解説があり、また、当センターにおける肝癌治療の紹介もありました。

猛暑の中、多数の市民の皆さまにご出席いただ

き、また、各講師の講演の後には多くの質疑応答があるなど、広い会場が熱気に満ちており、市民の皆さまの肝炎・肝がんに対する関心の深さを感じられました。また、それと同時に更なる啓発活動の重要性を感じ、さらに多くの皆さまがこのような公開講座に参加できる機会の必要性を感じました。我が国のB型肝炎およびC型肝炎ウイルスのキャリア（持続感染者）は合わせて約300万人と推定されていますが、知らぬ間に感染していたり、脂肪肝も含め、自覚症状も早期に出現しないために適切な時期に治療を受ける機会を逸し、肝硬変や肝癌へ進行してから発見される場合が多いことが問題となっています。一般の方に肝疾患に対する正しい理解や知識を普及し、また肝疾患患者さまが最新かつ最適な医療が受けられるように我々も努力することが必要と考えました。

毎年開催される予定であり、患者さまならびに周囲の方で肝疾患にご興味がある方がいらっしゃいましたら、来年度もご出席をお待ちしております。

（文責：消化器内科長 千代永 卓）



市民公開講座の様子



医療最前線 (116)



消化器内科

千代永 卓 先生

膵嚢胞について、超音波内視鏡の積極的活用を

膵嚢胞は、腹部エコーでの指摘など、日常診療で比較的良好に目にする疾患です。

分類は様々ですが、大きく、内腔が上皮で覆われる真性嚢胞と、それを欠く偽嚢胞に分けられます。真性嚢胞は非腫瘍性と腫瘍性に分類され、非腫瘍性は先天性（頻度は少ない）および二次性の貯留嚢胞に分けられます。腫瘍性嚢胞は、粘液性と漿液性に分類され、前者には粘液性嚢胞腫瘍（mucinous cystic neoplasm：MCN）と膵管内乳頭粘液性腫瘍（intraductal papillary mucinous neoplasm：IPMN）があり、後者は漿液性嚢胞腫瘍（serous cystic neoplasm：SCN（最近ではSNとも））です。

私たちが診療上最も遭遇するのは、IPMNです。IPMNは腫瘍性嚢胞で悪性化のリスクがあり、また、膵の他部位に膵癌が発生するリスクも高いとされています。このため、膵嚢胞が発見された場合は、その時点での膵癌の有無もしくは悪性を示唆する所見がないかの精査が必要です。私たちは、経腹超音波検査や造影CT、MRCPはもちろん、超音波内視鏡（EUS）を用いて精査、その後の経過観察を行っております。EUSは実施可能な施設に限られておりますが、当院は機器導入施設であり、膵癌の早期発見を目指して診療しております。

一方で、偽嚢胞には仮性嚢胞と充実性腫瘍の内部が嚢胞変性を呈する例があり、しばしば真性の腫瘍性嚢胞との鑑別を要します。このような腫瘍のひとつに神経内分泌腫瘍（NET）があります。中には嚢胞が主体となり充実部が辺縁にしか残存せず、一見すると嚢胞性病変を呈する例もあります。診断には、辺縁にわずかに存在する充実部の同定がポイントとなり、EUSが非常に有効とされています。

さらに、充実性腫瘍による膵管狭窄のために周囲に貯留嚢胞や仮性嚢胞を形成する場合があります。注意する必要があります。嚢胞の近くに実は小さな充実性腫瘍が存在することもあり、この場合もEUSによる観察が威力を発揮します。

膵嚢胞を指摘された場合は、腫瘍性病変を念頭に精査、経過観察することが重要です。その際にはぜひ超音波内視鏡（EUS）の積極的な活用を考慮いただけたらと思います。



超音波内視鏡画像

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

高校生の1日看護体験

8月1日(木)高校生の一日看護体験に15名の高校生が参加しました。白衣に着替え、ナースキャップをつけ、緊張した面持ちで席に着いていました。オリエンテーションの後、各病棟での看護体験、リハビリ体験、緩和ケア病棟の見学を行いました。各病棟では、教育委員が計画を立て、足浴や、清拭などを一緒に行いました。患者さまから「ありがとう、あなたたちは良い看護師さんになれるよ、頑張ってね。」など言葉をかけてもらい、とても嬉しそうでした。体験が終わるころには、緊張もほぐれ、笑顔



リハビリテーション科見学の様子



血圧測定体験の様子

が見られるようになりました。体験終了後に感想を聞いたところ、「体験を終え、看護師になりたい気持ちが強くなりました。」「頑張っ、看護学校に進学します」などの意見が聞かれました。実際体験を行い、患者さまと触れ合った事で、看護師の仕事を身近に感じることができたようです。今回体験に参加してくれた高校生が、数年後看護師になり一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしています。

(文責：看護師長 矢野 悦子)

令和元年度 鹿本高校インターンシップ

令和元年8月2日、鹿本高校生の職場体験が行われました。

今回、医療職に興味のある高校生が7名参加し、看護部4名、薬剤科1名、栄養管理室1名、医事課1名に分かれ、講義や見学、体験を行いました。参加者全員、1日だけの短い時間ではありましたが、体調不良もなく元気に職場体験を終えることができました。

実際に病棟で患者さまに接し、コミュニケーションの難しさや人の命を預かる責任感、感謝してもらえたときの喜びややりがいを感じたという感想が聞かれました。

また、薬剤科、リハビリテーション科、放射線科、栄



放射線科の撮影の様子を見学する学生



管理栄養士の話聞く学生

養管理室、緩和ケア病棟など様々な部署を見学できたことで、病院内の連携やチームで協力して患者さまを支えていることも理解でき、貴重な体験ができたように感じました。また、作業療法士や放射線技士、臨床工学士などの職種も今回の体験で知ることができ、将来の職業選択に対する視野が広がったという意見も聞かれました。

最後に、今回の経験を通して感じていただけたことを、将来の進路に結び付けていただければ幸いです。また、将来、医療職を目指し努力してもらい、私たちと一緒に働ける日がくることを楽しみにしています。

(文責：看護師長 田中 美佐子)

ご 案 内

第43回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
46.咳・痰 73.慢性疾患・複合疾患の管理 79.気管支喘息

下記により第43回公開特別講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

記

日時：令和元年9月13日(金) 19:00～

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「長引く咳・喘息・COPD」

座長：山鹿市民医療センター

院長 別府 透 先生

演者：熊本大学大学院 生命科学研究部

呼吸器内科学分野 教授 坂上 拓郎 先生

会費：無料

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
TEL：0968-44-2185 (内線608)

令和元年度歯科医師会研修会 「がん医科歯科連携研修会」のご案内

下記により令和元年度歯科医師会研修会を開催致します。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

山鹿市歯科医師会会長 宮坂 圭太
山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

記

日時：令和元年9月27日(金) 19:00～

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題：「がん医科歯科連携における口腔ケア」

座長：山鹿市歯科医師会会長・宮坂歯科医院院長
宮坂 圭太 先生

演者：サンスター株式会社

プロケアチャンネル営業統括部 歯科営業部
歯科衛生士 大津 朱里 (あかり)

会費：無料

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 迎田・田尻
TEL：0968-44-2185 (内線608)

キャンサーボードのご案内

当センターでは県指定のがん診療連携拠点病院として鹿本医療圏のがん診療に積極的に携わっており、消化器内科・腫瘍内科・消化器外科・放射線科・病理診断などの各科医師と、看護師、薬剤師、診療放射線技師、ソーシャルワーカーなど他職種メンバーが、がん患者の症状や治療方針について意見交換を行う「キャンサーボード」を開催しております。興味のある先生方は、是非お気軽にご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしております

日時：毎月第2水曜日 17:30～18:30

場所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

内容：前半：栄養状態と腸内環境の関わり
管理栄養士 平山 育実

後半：症例呈示

参加費：無 料

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
医療技術部 薬剤科 柴田 佳代
TEL：0968-44-2185 (内線758)



外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	※ 陶山 浩一	—	—
消化器内科	千代永 卓 本原 利彦	柚留木 秀人	本原 利彦	千代永 卓 柚留木 秀人	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※ 海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 松原秀太/中西浩一郎	工藤 智志 松原 秀太 中西 浩一郎	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 山崎 浩藏	—	※ 非常勤医師	—
小児科	※ 石井 真美	—	※ 石井 真美 予防接種 (午後)	※ 石井 真美	—
セ ン タ ー 器 官	耳鼻咽喉科	—	※ 深見 直美	—	※ 非常勤医師
	眼科	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴
産婦人科	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗
※片渕美和子(午後) 9/3(火)、10(火)、12(木)、17(火)、24(火)、26(木)					
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30 (受付は16:00) 迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

9月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
緩和ケア外来 (予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来 (予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	9/3(火)、10(火)、12(木)、17(火)、24(火)、26(木)	
P E G 外来	担当医	隔週 第2・4水曜 (午後)	
両親学級 (予約制：産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来 (予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>